

04 まちづくりの4つの柱

「みんなが輝くまち上毛」の実現に向け、この計画では4つの柱を設定しています



子どもが輝くまちへ

子育て支援・教育の充実

- ①子育て環境の充実
- ②学校教育の充実
- ③国際交流事業の発展

地域が一体となって、安心して子どもを産み育てることができる環境を育み、子どもたちが自ら学ぶ力と豊かな心を身につけ元気にすくすくと成長でき、地域に活力が生まれるまちを目指します。



たくさんの人で輝くまちへ

定住・交流人口の増加と社会参加

- ①農林水産業の振興
- ②商工業の戦略的振興
- ③観光資源の創出・整備
- ④地域イメージの向上
- ⑤協働のまちづくりとコミュニティ活動の推進
- ⑥生涯学習・スポーツの推進と伝統・文化の振興

町の農林水産物や資源を活かした新たな事業の創出・企業誘致を推進し、担い手や魅力的な雇用の場を確保するとともに、事業者の所得向上を目指します。
また、協働のまちづくりを推進することにより、町民のまちへの愛着と誇りが高まり、町外の多くの人から上毛町が選ばれ、応援されるまちを目指します。



心から笑顔で輝くまちへ

安全・安心と優しい暮らし実現

- ①保健・医療・福祉活動の充実
- ②防災・防犯体制の強化
- ③自然・生活環境の保全

町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らし、支え合いの心をもって地域で活躍することができるまちを目指します。
また、住みやすい環境の中、安全・安心に暮らし続けられるまちを目指します。



輝くまちの基盤づくり

住みやすいまちの実現

- ①生活インフラの充実
- ②広域行政の推進
- ③行財政運営の効率化
- ④公共施設マネジメントの推進

環境や公共交通等の様々な生活インフラと高度情報化時代に対応したデジタルインフラが適正に整備・管理された住みやすいまちの実現を目指します。

新しい総合計画がスタートします

第2次上毛町総合計画後期基本計画（令和4年度～令和8年度）策定中

01 後期基本計画策定の趣旨

全国的な少子高齢化や人口減少のさらなる進行は、それに伴う地域経済の縮小や産業構造の変化など深刻さを増しています。また、情報技術の革新、SDGs※、地球規模の環境問題、新型コロナウイルス感染症への対応など本町を取り巻く環境は大きく変化しています。
このような社会環境の変化や前期基本計画(平成29年度～令和3年度)の進捗状況を踏まえ、今後5年間のまちづくりの指針となる後期基本計画を策定しています。

02 まちの将来像 「みんなが輝くまち上毛」

町民一人ひとりが自らのまちに誇りと責任を持ちながら、それぞれの立場できらりと輝くことができるよう、第2次総合計画(基本構想 平成29年度～令和8年度)では将来像を「みんなが輝くまち上毛」として、その実現に向けて様々な取り組みを推進しています。

03 計画の推進

この計画を進めていく上では、町民、団体、事業者、行政の協働が重要となります。行政の役割として、町内4地区がそれぞれの特性を活かし、住民が町に誇りを持ち自慢できるまちにつながっていく考え方を基本として、4つの柱に掲げた取組を中心に計画的かつ効果的に推進して参ります。また、計画書には「九州一輝くまちにつながる行動」として、どのような行動がより良い町につながるのかを記載する予定です。
また、本町においてもSDGsの理念を踏まえ、町の実情に応じた持続可能な社会づくりを推進するため、この計画では、各施策がSDGsの様々な目標に結びついていることを下図の17の目標のアイコンを使って視覚的に分かりやすく示し、全体として全ての目標につながっていることを確認できるようにしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称であり、その理念を「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すこととし、2015年の国連サミットにおいて採択されました。17のゴールと169のターゲットから構成されています。